



センターだより

センターまつり開催しました

センターまつり午前の様子

3月24日に第2回センターまつりを開催しました。

IIHOE 代表の川北秀人さんをお招きし、「協働のすゝめ」をテーマにパネルディスカッションおよび講演会を開催し、多くの市民の方が聴講しました。また今年は子育て総合支援センターも加わり、バルーンアートで小さいお子さんたちも楽しむことができました。

～ パネルディスカッション ～



熱演の川北さん

川北さんのコーディネートのもと、市と協議事業を行っている4つの登録団体がパネリストとなり、行政との協働について意見を交わしました。協働事業の内容、協働することの利点と課題が具体的な事例で紹介されました。行政と協働することで「団体だけでは解決できない高いハードルを越えることができる」との意見が出ました。最後にこれから協働を始める人のために「団体は自分の確たる信念を持って市に協力を求めること」「お互いの立場を十分理解して、うまく利用しあうことが必要」というアドバイスが各団体からありました。登録団体だけでなく、市民のみなさんにとっても今後の市の活性化に大変参考になるディスカッションとなりました。



まち・ネットみんなの広場
高井さん



学童保育ざりがにクラブ
鳴海さん



健康づくりリーダー会
岡山さん



防災ボラ・ネット
高木さん

～ 講演 ～

※団体名は略称で表記させていただきました。

パネルディスカッション終了後、川北さんに「協働のすゝめ」をテーマにした講演をしていただきました。「まち・むらの課題を、まち・むらの力で解決するために」をキーワードに、20年後に日本・東海市が置かれているであろう生産人口・社会保障費の状況を踏まえながら、「総働」の必要性を説いておられました。「総働」とは、協働をさらに進め、当事者、事業者・金融機関、行政、NPO、学校、専門家が相互に連携して、「まちの競争力」を維持・向上していくべきだという考え方です。自分が住んでいる地域の未来・子どもたちに誇れる未来のためには、他の人に任せるとお任せ民主主義ではなく、市民一人ひとりが力を出し惜しみせず、全力を尽くすことが大切であると論理的かつ明確にお話しされました。日本各地での「まちづくり」の事例を紹介しながら、本当の「自立」とは実は相互依存である「総働」こそ、これからの地域にあるべき姿だとする川北さんの主張に、会場の皆さんも真剣に聞き入っていました。

センターまつり午後の様子

市民活動センター全館を「体験交流コーナー」「作品およびパネル展示コーナー」「ブースコーナー」「活動発表・舞台発表」に区切り、参加登録団体による活動発表およびPRを行いました。

体験交流コーナー



つみぎ工房



ボランティア相談



コノハ警部



コリアンネット

パンや焼き菓子の販売、ボランティア相談、ちびっこ警察官とコノハ警部、ブローチ作り、パソコン指導、チマチョコリの折り紙製作などが行われ、多くの方が体験されていました。

展示コーナー



作品およびパネルでの活動紹介が展示されました。



パネルでの活動紹介

←作品の展示

ブースコーナー



ブースによる発表および体験

各ブース毎に展示や体験をして多くの人で賑わいました。

活動発表



ふれあいD



コーロ・クレーレ



しあわせ劇団



木曜座

小会議室では、星城大学、Seed Bank、平成おはなしおじさん、ふれあいDによる活動発表が行われました。

写真はふれあいDの手話による「はらぺこあおむし」の読み聞かせです。また、大会議室では舞台上で、コーロ・クレーレによる歌や、しあわせ劇団、木曜座による劇、東海市健康づくりリーダー連絡協議会による体操などで、会場が盛り上がりました。



登録団体さん紹介！

おしゃべりサロン

くれよん's



今回は「くれよん's」さんをご紹介します。

くれよん'sさんは毎週木曜日 10時半から登録団体優先席であるリザーブ席で定例会を行っています。長く子育てをされているベテランママさんたち6~8人のおしゃべりサロンとでもいったらよいのでしょうか、木曜日の10時半になると自然と集まりだし、なんとなく始まり、そのうち笑い声が情報交流コーナーに響いてくるといった具合です。

センター開所当初から登録いただいているくれよん'sさんは、夏休みなどの長期休暇を除いては最も定期的にご来館くださる団体の一つです。この日はおなじみのメンバー5人にお話を伺ってみました。

Q1 発足のきっかけは？

平成7年、東海市の幼児期家庭教育講座（ナースリーワールド）で知り合いになり、その後、講座の反省会の資料を作っていたメンバーと、スタディーサークル事業で自主サークルとして立ち上げました。

私たちを取り巻く身近な問題“子育ての悩み、家庭不和、不登校、幼児虐待など”について一緒に考え話し合いながら、心理学やカウンセリングの基礎を学習していくことを目的としています。

必要な場合、スクールカウンセラーの先生の紹介もします。

Q2 活動の良いところは？

1週間に1度話をできる場所があるのはとても心強いです。

話すことで自分の心の整理になる。自分の進んでいる方向を確認しながら進んで行けます。また、それぞれの子どもの年齢が10代~30代と幅広く、先輩ママの話から刺激が受けられます。その他にも、しゃべると心に余裕ができる…など次々良いところを教えてくださいました。メンバーのみなさんが、くれよん'sの活動を心のよりどころにしているのがよく伝わってきました。

そしてこの井戸端会議にいつでもウェルカム！何かあればいつでもお話を聞きますよとのことでした。

この会に参加し話をすることで、満足し卒業された方が何人もいらっしゃるそうです。

子どもが成長するごとに悩みって変わってくるんですね。迷い悩んだときにはここに加わって、先輩のご意見がお聞きしたいなと思う私でした。

みなさんも木曜10時半から、是非立ち寄ってみてはいかがでしょうか！



くれよん'sさんの名前の由来は？

人は十人十色といわれます。クレヨンにいろいろな色があるように私たちもひとりひとり個性があります。それをどう見つけるかどう生かすのかを考え合おう！自分のカラーを大切にしていこう！『くれよん's』の名前はこうして生まれました。



いつも楽しそうに活動されているくれよん'sさん
お待ちしております♪

みんなの広場開催しました！

第1回みんなの広場 5月24日(木) 10:00~11:30

市民活動センターホームページの活用講座『ホームページを上手に使おう！』を開催しました。

皆さんは市民活動センターのホームページを見たことがありますか？

「場所がよくわからない」「施設にはどんな設備があるの？」「印刷したいけど印刷作業室の混み具合は？」といった声を耳にしますがこういった情報が満載です。ご存知でしたか？参加者の中には、パソコンはあるけど市民活動センターのホームページは見たことがないといった方もみえました。

今回はプロジェクターを使用し、実際にホームページを見ながら講座を受けていただきました。「自分たちの活動の場をもっと広げるために“活動資金として助成金を獲得したい”と欲していたところ支援情報が載っていた」「印刷作業室の空き状況が確認できるから予定が立てやすい」「会議室利用料金は電話で聞かなくても調べることができる」など理解していただき、すぐにでも自分のパソコンで確認してみたいといった様子でした。また、ボランティア団体等は無料で簡単なホームページを作ることができるので「ホームページができたならリンクできます」と紹介したところ、興味深くお話を聞いていた方もみえました。情報収集の場・活動紹介の場として利用していただけたら嬉しく思います。今後とも皆様のお役に立てるよう、さまざまな情報を掲載して参りますのでぜひご利用ください。



●今後の予定

第2回みんなの広場/スキルアップ講座

♪ 楽しく☆ヒップホップ ☆♪

ヒップホップを楽しく学ぶ

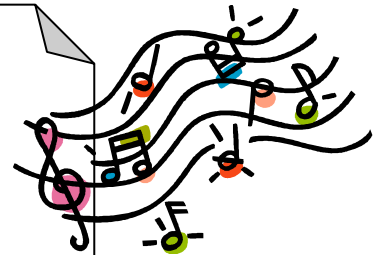
日時 7月29日(日) 10:00~11:30

場所 市民活動センター大会議室

講師 スタジオフローレス 石丸 峻さん

参加費 無料(定員50~60名)

お子様からでも気軽に楽しめるダンスです！



編集後記

センターがオープンして2度目の夏、今年も節電の夏となりそうですね。

量販店では節電対策グッズがずらり！扇風機や冷風機、ソーラー充電器、LED電球などが並んでいます。またドライヤーいらずの吸水タオル、水に濡らすと冷感が長時間持続するひんやりタオル、すばやく汗を吸い取る清涼敷パッドなどを見かけます。日よけ対策としてすだれやゴーヤ、あさがおで縁のカーテンをされている方も多いのではないのでしょうか。楽しく節電を心がけましょう。

■発行 東海市立市民活動センター

■住所 〒477-0031

東海市大田町後田20番地の1

(ソラト太田川 3F 東海市民交流プラザ内)

■電話 0562-32-3400

■FAX 0562-32-8180

■開館時間 午前9時~午後9時

■休館日 毎月第4月曜日

12月29日~翌年1月3日

■E-mail shimin-c@fuga.ocn.ne.jp

■ホームページ

<http://www5.ocn.ne.jp/~s-catudo/>